

純米大吟醸 『国見あつかしさん^{きわみ}極』が完成

昨年、モンドセレクション金賞を受賞した「国見あつかしさん」を超える極上の酒を目指して仕込んだ、純米大吟醸「国見あつかしさん極」ができ上がりました。

平成26年新嘗祭の献穀農家「朽木農園」の青年後継者である朽木貴之さんが作付、品質管理を行った福島県オリジナル酒米「夢の香」と福島県が独自に開発した酵母を使用し、人気酒造株式会社が醸造した贅沢な日本酒です。

また、昨年同様、純米吟醸「国見あつかしさん（生・火入れタイプ）」も醸造しました。

町内酒店、コープふくしま国見店、らいふびあ、国見まちづくり会社で販売しています。



「国見あつかしさん」の完成を内堀県知事に報告する太田町長、朽木勝之さん（右から2人目）、朽木貴之さん（右）



平成29年 5月3日 グランドオープン

道の駅 国見 あつかしの郷

東日本大震災からの復興のシンボルとして建設を進めている、道の駅国見あつかしの郷が5月3日にグランドオープンすることが決定しました。

昨年10月24日に、国土交通省から県内で30番目の道の駅として登録証が伝達され、4月27日の竣工式に向け、工事が順調に進められています。国道4号沿いには阿津賀志山防塁を彷彿させる波型の大屋根が特徴的な建物が目に入ります。

また、地元農産物を活用したメニューや国見バーガーやもも大福など6次化商品の開発などにも取り組み、道の駅オープンに向け準備を進めています。

今月号では、道の駅情報として、新たに完成した新酒「国見あつかしさん極」とプレ・パーティーの様子をお知らせします。



プレ・パーティー を開催

道の駅国見あつかしの郷開業前プレ・パーティーが12月25日、観月台文化センターホールで行われ、約300人が参加しました。

プレ・パーティーでは、道の駅で提供される予定のくみ鶏や川内産のごぼうなど地元の食材を使った料理やこれまで開発を進めてきたあんず羊かんやジュースなどの多数のメニューが並び、参加者は国見の豊かな食を味わいました。

また「国見あつかしさん極」もお披露目され、太田久雄町長、酒米生産者の朽木勝之さん、朽木貴之さん、人気酒造株式会社代表取締役の遊佐勇人さんらが鏡開きを行い、新酒の完成を祝いました。

5月3日のグランドオープンに向け、町の人々の期待が一層膨らむパーティーとなりました。

